

# 沿道のまちづくりと一体となった道づくり

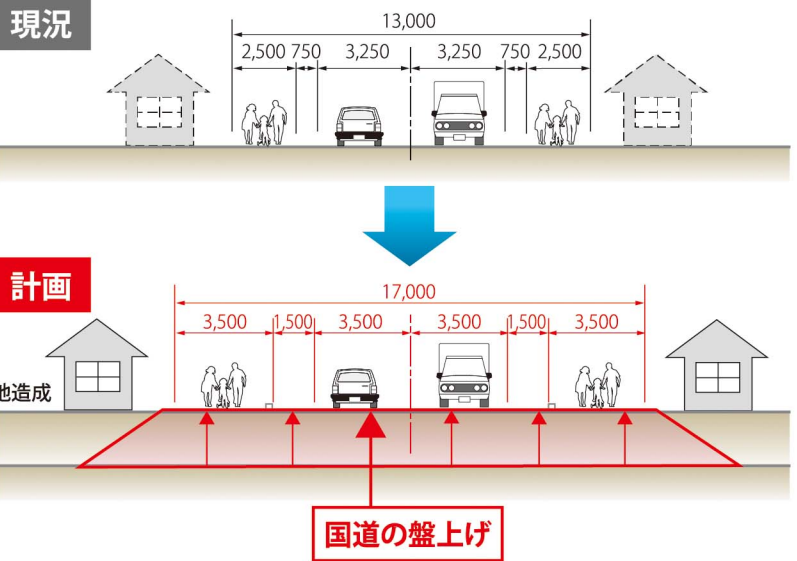
## 岩手45号復興

岩手45号復興は、陸前高田市～宮古市における国道45号の現道改良事業です。東日本大震災で津波により壊滅的な被害を受けた三陸地域において、沿道のまちづくり計画と一体的に国道45号の再配置や盤上げ等の事業を行い、被災地の早期復興を図るものとして、平成25年2月に事業化されました。

令和元年度は、用地買収、橋梁工事、改良工事、舗装工事等を促進します。



### 国道の盤上げイメージ



### 電線共同溝

地震や台風による電柱の倒壊をなくし、安全性を向上させるとともに、良好な沿道景観を形成し、歩行者が歩きやすくなります。

岩手45号復興区間では、電線共同溝整備事業を合わせて行うこととしています。



▲電線共同溝完了箇所 (H30年度 宮古市田老地区)

新国道(盤上げ後)への切替完了	○	自動車専用道路	—
事業中	●	一般国道	—

※平成31年4月1日現在